

経営改善計画書

令和〇年〇月〇日

会社名

株式会社 チューショー

役職および名前

代表取締役 中小 太郎

《債務者概況表》

① 対象先・概要	事業者	株式会社 チューショー						
	連絡先	(06) 6809-5592		住所	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号			
	業種	製造業	設立年月日	平成25年1月1日	年商	100 百万円		
	(事業内容)	ネジの製造		代表者	中小 太郎 50 歳			
	資本金	10,000千円	従業員数 (うちパート人員数)	5名 (2名)	主要金融機関	① ●●銀行 ② ●●信用金庫 ③ / ④ / ⑤ /		
	事業内容・沿革	平成25年1月 中小太郎が大阪市本町にて法人を設立した 平成25年5月 法人事務所を現住所へ移転した。 平成26年1月 新規取引先A社と取引を開始した。 平成27年1月 ●●信用金庫から借入れを実施し、設備の購入を行った。 平成28年1月 ナットの製造技術を確立した 平成28年4月 B社と新規に取引を開始した。						
	株主構成	名前	株数	関係	名前	役職		
		中小太郎	900	本人	中小太郎	代表取締役		
		中小花子	100	妻	中小花子	取締役		
		計	1,000					
② 財務内容及び問題点	令和元年12月期	単位:千円			主要コメント及び問題点			
	資産の部	決算	負債の部	決算	【資産査定】			
	現預金	14,850	支払債務	15,000	棚卸資産は売上に比べて少なく、滞留しているものも見受けられない。			
	売上債権	10,000	短期借入金	0	土地は従業員の社宅として使用している。			
	棚卸資産	10,000	その他	0				
	その他	1,000	流動負債計	15,000				
	流動資産計	35,850	長期借入金	36,000	【財務上の問題】			
	土地	5,000	その他		債務超過となっているが、現預金は不足しておらず、短期的な問題は見受けられない。			
	建物(付属含む)	5,000			長期借入金は現在リスケ中で利息のみ支払っている。			
	その他	0						
有形固定資産	10,000	固定負債計	36,000					
無形固定資産	100	負債合計	51,000					
会員権		資本の部	決算					
投資有価証券		資本金	10,000					
その他	50	その他	▲ 15,000					
投資等	50							
固定資産計	10,150	自己資本	▲ 5,000					
資産合計	46,000	負債資本合計	46,000					
③ 業績推移等	(単位:千円)	平成29年12月期 (実績)	平成30年12月期 (実績)	令和元年12月期 (実績)	令和2年12月期 (見込)	【分析結果】		
	売上高	90,000	90,000	100,000	100,000	改善は進んでいるものの3期連続で赤字となっており、早急に利益を拡大し、黒字化することが重要である。		
	営業利益	▲ 5,000	▲ 5,000	▲ 2,000	1,000			
	経常利益	▲ 6,000	▲ 6,000	▲ 3,000	0			
	当期利益	▲ 6,005	▲ 6,005	▲ 3,005	0			
	減価償却	3,000	3,000	3,000	2,500			
	決算上自己資本	4,010	▲ 1,995	▲ 5,000	▲ 5,000			
	金融機関からの借入金	20,000	20,000	20,000	20,000			
						直近期見込み	収益弁済原資	3 百万円
							債務超過解消年数	3 年
						債務償還年数	0.7 年	
④ 銀行取引状況	金融機関名	平成29年12月期(実績)	シェア	平成27年12期(実績)	シェア	平成28年12期(実績)	シェア	保全額
	●●銀行	15,000	75.0%	15,000	75.0%	15,000	75.0%	
	●●信用金庫	5,000	25.0%	5,000	25.0%	5,000	25.0%	
	合計	20,000	100.0%	20,000	100.0%	20,000	100.0%	
⑤ 現状と認識課題	■現状							
	営業赤字が2期連続しており、収益性の早急な改善が求められる。一方で売り上げは主要取引先からの案件が増加傾向にあり、今後安定した受注が予想される。							
	製造原価においては効率性・歩留まりが悪くなっており、これはリピートが確実に見込まれている商品も受注があるたびに必要分だけを製造する方法を取っているためである。以前資金繰りが厳しい際に在庫削減を目的として、変更したままで、現在においても戻していない。							
	経費については売上拡大に向けた活動による旅費交通費の出費が多くなっており、営業活動を計画的にすることで削減していく。加えて、通信費は数年見直ししていないため、削減の余地がある。							
	■認識課題							
	効率性・歩留まりの改善によって、製造原価を改善することが課題である。製造頻度の見直しにより段取り替えを減らすことで歩留まり率の改善を図り、材料費を2%(1,000千円)、残業時間の削減(600時間分:1,500千円)を改善する。							
	経費については旅費交通費と通信費の費用を削減するために、これまでの状況を明らかにして、取引先へまとめて訪問する計画的な営業活動の実施と通信方法の見直しによる費用の削減を実施すること。							
	上記施策により、今期中に当期利益段階の赤字を解消する。							
	⑥ 生産性向上計画策定方針							
	・効率性・歩留まりの向上に関してはリピートが見込まれる商品であるかをデータ化・分析して、6か月以上連続でリピート受注があるものをリピート品として、1階の生産量を2か月分として、一部の在庫を保有することで効率を高める。在庫にするかどうかは社長から先方にヒアリングして継続確率が高いかについても確認を実施する。在庫の増加に対応して、在庫置き場のレイアウト変更を実施する。							
・経費については、特に旅費交通費と通信費が高いことがネックとなっている。今回の計画では旅費交通費の引き下げと通信費の引き下げを実施することが課題となる。旅費交通費は同じ地域の訪問を複数回に分けて実施していることで、移動にかかる費用と時間を無駄にしている。また、通信費は見直しをこれまで一度も実施しておらず、携帯電話の費用を削減できる余地がある。これらの施策により年間500千円の経費削減を図る。								

《 概 要 》

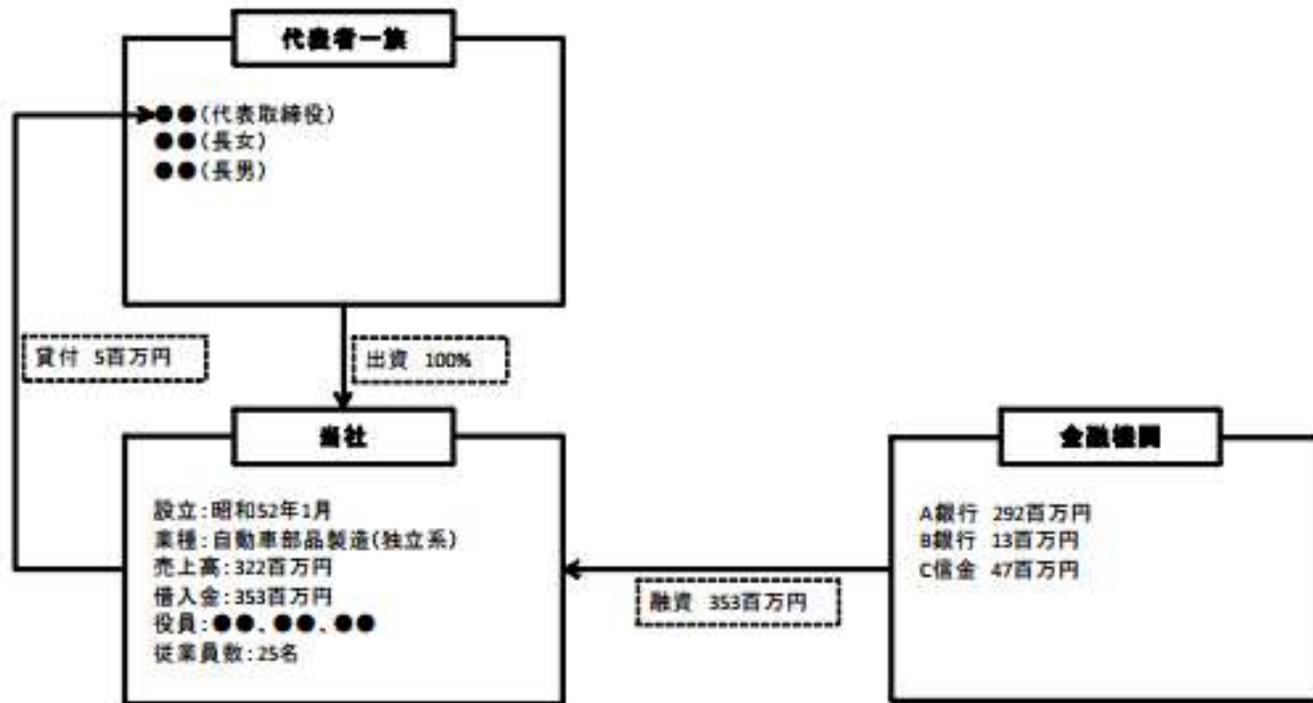
<p>① 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製造原価 製造原価においては効率性・歩留まりが悪くなっており、これはリピートが確実に見込まれている商品も受注があるたびに必要な分だけを製造する方法を取っているためである。以前資金繰りが厳しい際に在庫削減を目的として、変更したままで、現在においても戻していない。 ・経費 経費については売上拡大に向けた活動による旅費交通費の出費が多くなっており、営業活動を計画的にすることで削減していく。加えて通信費の見直しも数年実施していないとのことであり、削減の余地がある。
<p>② 計画の基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製造原価 製造効率の改善のために、生産についてこれまでに比べて、在庫を持ち、計画的に製造を実施できるようにすることで、製造原価を削減する。 ・経費 経費の内、削減しても売りに上げに影響のない項目について削減を実施する。
<p>③ 計画期間・改善目標等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間 本計画は3年間の計画とする。 ただし、施策の実施は今期中に実施する。 ・改善目標 製造原価 : ▲2,500千円 販管費 : ▲500千円

3企業集団の状況

企業集団の状況の説明資料

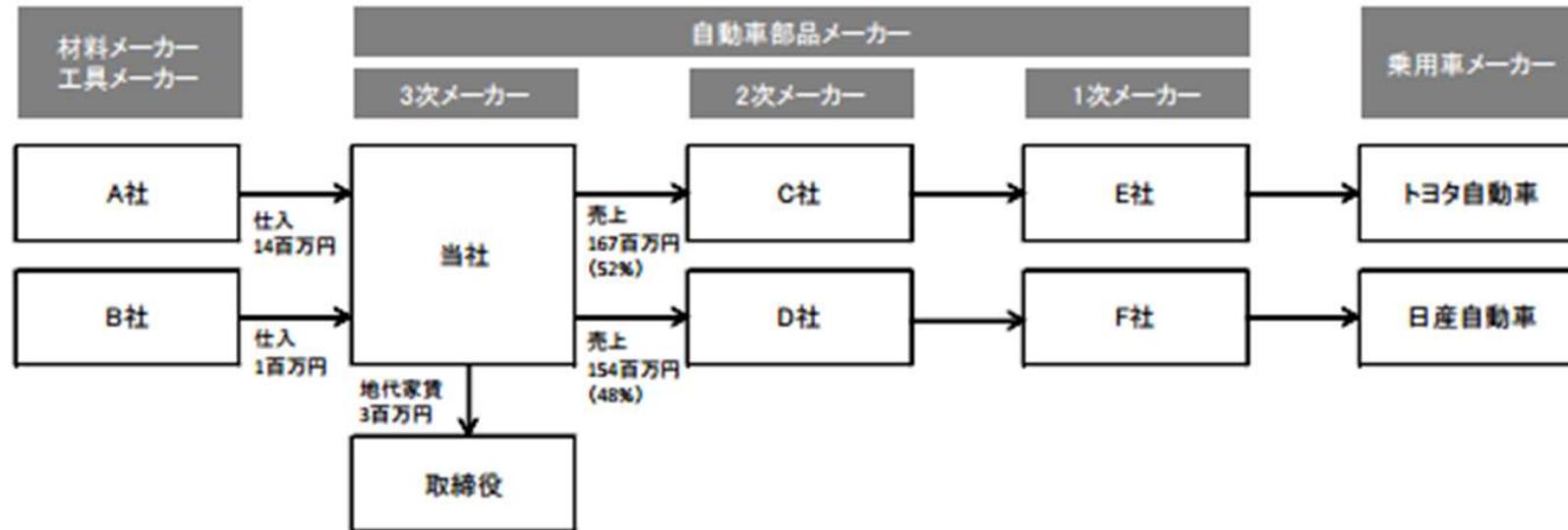
※企業への出資比率や関係会社との関係性(出資関係、借入関係)を図を用いて、分かりやすく説明する。

※以下(赤字記載個所)は提出時に削除すること。



《ビジネスモデル俯瞰図》

・ 事業者のビジネスモデル説明資料



※切削用ホイル材料については、原則として、得意先からの無償支給とされている。

【仕入高推移】

	H22/9	H23/9	H24/9
A社	4	13	14
B社	3	3	1
合計	7	16	15

【売上高推移】

	H22/9	H23/9	H24/9
C社	144	232	167
D社	79	117	154
合計	222	350	322

基準または目標値を選択	当社が選択する決算期	←リストから選択 赤字のセルは提出時に削除してください		
	平成〇〇年〇月決算	←〇当社が選択する決算期は決算期の入力 提出時に削除する ←〇その他を選んだ場合は理由の記載 提出時に削除する		
	基準、目標値を入力①	計画最終年度の数値計画②	差額(②-①)	基準値の設定、計画値との差額等についてコメント
売上高	120,000	100,000	-20,000	基準年は過去最高の収益性のため基準とした。また、〇〇の影響で落ち込んでいる売上高を取り組みで改善するが、約2千万円は減少する。
売上総利益	20,000	23,000	3,000	売上高は平成〇〇年まで届かない中、〇〇等の取組みで利益が3,000千円向上。
営業利益	3,900	4,000	100	売上高は平成〇〇年まで届かない中、〇〇等の取組みで販売管理費を抑制し利益が100千円向上。
経常利益	3,000	3,000	0	計画最終年度は借入金が高んだこと等を理由に営業外費用が1,000千円増加。基準年度と同等額となります
当期純利益	1,500	1,800	300	計画最終年度は固定資産の除却等の特別損失がなく、当期利益は基準年と比較して300千円向上。

計画値の根拠となるローカルベンチマーク、業種別審査辞典またはその他の資料を添付ください

《 実施計画 》

経営改善計画の具体的な内容		実施時期	実施責任者	計画0年目 R2年12月期	計画1年目 R3年12月期	計画2年目 R4年12月期	計画3年目 R5年12月期
1	売上高の一層の安定化	R3/12	営業部長		～～の提案 受注件数1件獲得	～～の獲得 受注件数2件獲得	～～の増加 受注件数3件獲得
2	生産ロットの見直し	R2/12	社長	歩留まり率2%向上	歩留まり率の維持	歩留まり率の維持	歩留まり率の維持
3	材料購入ロットの変更	R2/12	部長	材料費率1%削減	材料費率1%削減	材料費率の維持	材料費率の維持
4	生産工程の作業内容変更	R2/12	工場長	生産工程の見直し	—	—	—
5	在庫レイアウトの変更	R2/12	工場長	在庫レイアウトの見直し	—	—	—
6	旅費交通費の削減	R2/12	社長	▲300千円	旅費交通費の維持	旅費交通費の維持	旅費交通費の維持
7	通信費の見直し	R2/12	社長	▲200千円	通信費の維持	通信費の維持	通信費の維持
8	不要資産の売却	R4/12	社長			売却の実行	

《 計数計画 》

損益計画(※過年度の勘定科目全てを含んだ推移を記載・行数は適宜追加して記載、※以下は提出時に削除すること。)

(単位:千円)	直近期 R3年 12月期	計画0年目 R4年 12月期	計画1年目 R5年 12月期	計画2年目 R6年 12月期	計画3年目 R7年 12月期
売上高	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
材料費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
労務費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
外注加工費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
製造経費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
売上総利益		20,000	22,000	22,500	23,000
人件費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
役員報酬	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
給与手当	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
その他経費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
広告宣伝費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
旅費交通費	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000	* ,000
営業利益	▲ 2,000	1,000	3,000	3,500	4,000
営業外収益	0	0	0	0	0
営業外費用	0	0	0	0	0
経常利益	▲ 3,500	0	2,000	2,500	3,000
特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	▲ 3,005	0	1,950	1,500	1,800
法人税、住民税及事業税	88	88	780	600	720
当期純利益	▲ 3,093	-88	1,170	900	1,080

《 計数計画 》

キャッシュフロー又は資金計画(※キャッシュフローの増減要因がわかるように記載)

(単位:千円)		直近期 R3年 12月期	計画0年目 R4年 12月期	計画1年目 R5年 12月期	計画2年目 R6年 12月期	計画3年目 R7年 12月期
	税引前当期純利益	▲ 3,093	▲ 88	1,950	1,500	1,800
	減価償却費(製造原価)	3,000	3,000	2,500	2,000	1,500
	減価償却費(一般管理費)	0	0	0	0	0
	引当金勘定	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
営業外	受取利息配当金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の営業外収益	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	支払利息	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の営業外費用	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
特別	特別利益	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	特別損失	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
流動資産・負債	売上債権の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	棚卸資産の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	未収金の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の流動資産の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	仕入債務の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	短期未払金の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の流動負債の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
固定	長期未払金の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他固定負債増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
小計		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
営業外	受取利息配当金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の営業外収益	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	支払利息	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	その他の営業外費用	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
特別	特別利益	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	特別損失	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	法人税等支払額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
営業キャッシュフロー		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
固定 貸付金	固定資産増減	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	繰延資産増減	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	短期貸付金の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	長期貸付金の増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
投資キャッシュフロー		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
フリーキャッシュフロー		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
借入金	短期借入金増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	長期借入金増減額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
財務キャッシュフロー		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
営業+投資+財務CF		*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	期首現預金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
	期末現預金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000

《 計数計画 》

貸借対照表計画(※過年度の勘定科目全てを含んだ推移を記載・行数は適宜追加して記載)

(単位:千円)	直近期 R3年 12月期	計画0年目 R4年 12月期	計画1年目 R5年 12月期	計画2年目 R6年 12月期	計画3年目 R7年 12月期
流動資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
現金及び預金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
売上債権	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
受取手形	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
売掛金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
その他売掛債権	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
棚卸資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
仕掛品	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
原材料	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
貯蔵品	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
未収金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
短期貸付金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
その他の流動資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
前渡金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
仮払金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
前払費用	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
固定資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
有形固定資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
建物	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
建物附属設備	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
土地	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
新規設備投資	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
設備投資累計額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
減価償却累計額	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
無形固定資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
電話加入権	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
リース資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
ソフトウェア	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
長期貸付金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
投資その他の資産	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
投資有価証券	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
出資金	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
資産合計	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
...					
負債合計	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
純資産合計	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000
負債及び純資産合計	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000	*0,000

《 計数計画 》

タックスプラン(※繰越欠損金の残高を参照して記載。税率は40%で計算すること)

(単位:千円)	直近期 R3年 12月期	計画0年目 R4年 12月期	計画1年目 R5年 12月期	計画2年目 R6年 12月期	計画3年目 R7年 12月期
繰越欠損金合計残高	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
税引前当期利益	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
課税所得	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
所得割【税率(40%)】	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
均等割	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
法人税額合計	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000

《 計数計画 》

金融機関別借入金返済計画(借入金融機関を全て記載)

(単位:千円)	直近期	計画0年目	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R3年 12月期	R4年 12月期	R5年 12月期	R6年 12月期	R7年 12月期
●●銀行	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
●●信用金庫	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
返済額合計	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000
当期利益	▲3,093	▲88	1,170	900	1,080
FCF	*,000	*,000	*,000	*,000	*,000

金融支援計画(※金融調整時にはメイン行と調整して記載・現行の返済額を継続する場合はその旨を記載。)

FCFに余裕がないことから、毎年2,000千円の返済額にて3年間ご継続頂きますようお願い致します。

8 その他資料（任意）

- ・ 経営改善計画に関わるその他資料

※①取引先別、品目別売上高計画や粗利計画、②経営改善計画に関する施策の提案、③今後の施策実施にあたって企業側に提出した資料や調査・分析結果、具体的支援ツールなどを添付する。
エクセルではなく、別途印刷して計画に添付してもよい。
※本項目（赤字記載箇所）は提出時に削除すること。

■金融機関返済計画(総括)

借入金返済計画合計 (単位:千円)	-2年目	-1年目	計画 0年目	計画 1年目	計画 2年目	計画 3年目
	R30/3	R31/3	R2/3	R3/3	R4/3	R5/3
FCF						
借入金(金融機関)返済額						
長期借入金残高(金融機関)①						
短期借入金残高(金融機関)②						
借入金合計(①+②)						

※3年目以降は横のばし

金融機関別借入金残高 (単位:千円)	保証状況	-2年目	-1年目	計画 0年目	計画 1年目	計画 2年目	計画 3年目
		R30/3	R31/3	R2/3	R3/3	R4/3	R5/3
借入金残高合計							
●●銀行	-						
〇〇-〇〇番	プロパー						
〇〇-〇×番	保証協会						
〇〇-×〇番	保証協会						
〇〇-××番(新規借換)	保証協会						
■銀行	-						
〇〇-〇〇	保証協会						
▲▲銀行	-						
〇〇〇〇	保証協会						
内保証協会対象額							

返済原資・返済額合計 (単位:千円)	保証状況	-2年目	-1年目	計画 0年目	計画 1年目	計画 2年目	計画 3年目
		R30/3	R31/3	R2/3	R3/3	R4/3	R5/3
借入金残高合計							
●●銀行	-						
〇〇-〇〇番	プロパー						
〇〇-〇×番	保証協会						
〇〇-×〇番	保証協会						
〇〇-××番(新規借換)	保証協会						
■銀行	-						
〇〇-〇〇	保証協会						
▲▲銀行	-						
〇〇〇〇	保証協会						
FCF返済率							

金融支援計画

--

■金融機関返済計画(0年目月次)

金融機関別借入金残高 (単位:千円)	保証状況	0年目											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
借入金残高合計													
●●銀行合計													
○○-○○番	プロパー												
○○-○×番	保証協会												
○○-×○番	保証協会												
○○-××番(借換新規)	保証協会												
■■銀行合計													
○○-○○	保証協会												
▲▲銀行合計													
○○○○	保証協会												
内保証協会対象額													

返済原資・返済額合計 (単位:千円)	保証状況	変更前 月額 (円)	変更後 月額 (円)	0年目											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
返済額合計															
●●銀行合計															
○○-○○番	プロパー														
○○-○×番	保証協会														
○○-×○番	保証協会														
○○-××番(借換新規)	保証協会														
■■銀行合計															
○○-○○	保証協会														
▲▲銀行合計															
○○○○	保証協会														
FCF返済率															

金融支援計画

--

金融支援計画(自由書式)

本件 サポート保証による借換にて資金調達と返済軽減を行い資金繰り安定化を図る。メインバンクとして全面的な金融支援のバックアップを行う。

27,750千円 残期間28回を同様に経営改善サポート保証 期間15年にて残高借換。

プロパー136,544千円 残期間113回を150,000千円にて期間10年にて借換。

また事業再構築補助金による設備取得に係る資金33,500千円およびその他諸費用についてつなぎ資金および伴走型保証により支援を行っていくもの。

ご提案内容

令和4年7月末時点のお取引状況

金融機関名		現在の残高	毎月元金返済額	利率	◎付	返済回数
	プロパー(手賃)	10,000,000 円	0 円	1.750 %		1回
	CSファンDR	27,750,000 円	850,000 円	0.800 %	○	28回
	ゼロゼロ	32,008,000 円	333,000 円	1.200 %	○	96回
	ゼロゼロ(据置)	20,000,000 円	0 円	1.200 %	○	96回
	伴走支援	15,438,000 円	142,000 円	0.900 %	○	108回
	プロパー(据置)	60,000,000 円	0 円	%		
	プロパー	136,544,000 円	1,208,000 円	1.750 %		113回
	(据置)	60,000,000 円	0 円	%		
		円	円	%		
		円	円	%		
合計		301,740,000 円	2,633,000 円	1.176 %		
ご参考	毎月の利息ご負担		295,797 円			

借換後



本件

	お借換え後残高	毎月元金返済額	利率	◎付	返済回数
プロパー(手賃)	10,000,000 円	0 円	1.750 %		1回
経営サポート(据置)	27,750,000 円	0 円	1.200 %	○	180回 2年据置・156回
ゼロゼロ	32,008,000 円	333,000 円	1.200 %	○	96回
ゼロゼロ(据置)	20,000,000 円	0 円	1.200 %	○	96回
伴走支援	15,438,000 円	142,000 円	0.900 %	○	108回
本件	プロパー	150,000,000 円	1,250,000 円	1.750 %	120回
	公庫(据置)	60,000,000 円	0 円	%	
		円	円	%	
		円	円	%	
合計	315,196,000 円	1,725,000 円	1.236 %		
ご参考	毎月の利息ご負担	324,670 円			

メリット等

- ①平均金利 1.176 % ⇒ 1.236 % (金利差 +0.060 %)
- ②毎月元金返済額 2,633,000 円 ⇒ 1,725,000 円 軽減額 908,000 円
- ③手許資金 13,456,000 円
- ④その他 サポート保証借換保証料 360千円予定。